

このたびはS K式タンクをご採用いただきまして  
誠にありがとうございます。  
この「取扱説明書」をお読みになった後は、大切に  
保管してください。



下田エコテック株式会社

# S K式タンク取扱説明書

## 目 次

- 
- 
- |                     |     |
|---------------------|-----|
| 1. 各部の名称について        | 1   |
| 2. 施工について           | 1・2 |
| 3. 使用上のご注意、保守点検について | 3   |
| 4. 保証・サービスについて      | 3   |
| 5. 光透過と藻類発生について     | 4   |
- 
- 

(施工業者 様)・・・施工について 1・2ページ

取付け作業に着手する前に、必ず本取扱説明書をお読みの上、正しく施工していただきますようお願い申し上げます。

(維持管理者 様)・・・使用上のご注意、保守点検について 3ページ

ご使用前に本取扱い説明書をお読みの上、使用上のご注意、機能、使用方法などについて十分ご理解いただいた上で、正しくご使用いただきますようお願い申し上げます。

施工業者様は施工終了後、本取扱説明書を維持管理者様にお渡してください。

●取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## 1. 各部の名称について

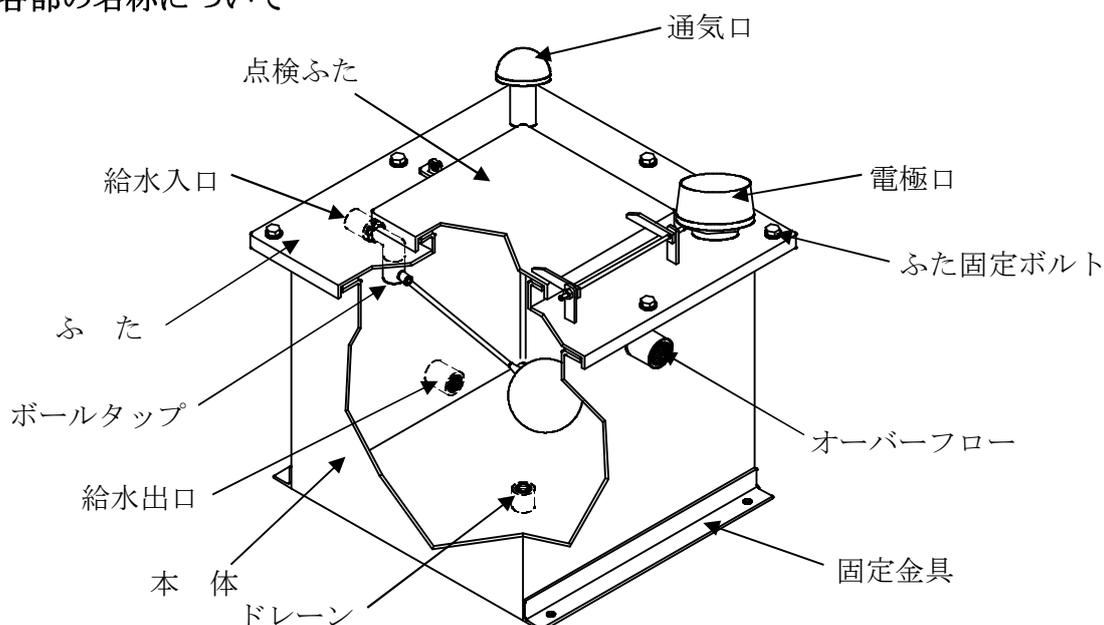


図1 SUS製タンク

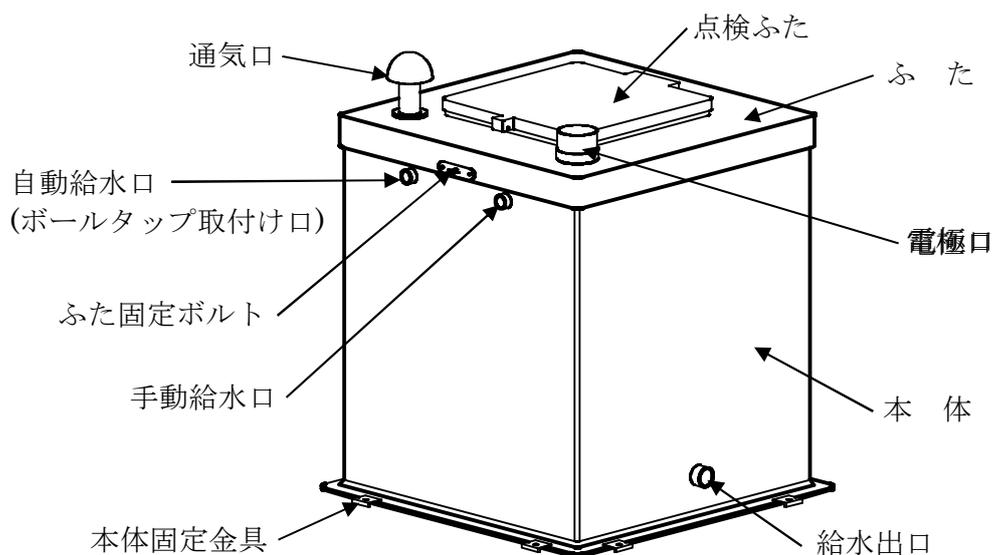


図2 GFRP製タンク

## 2. 施工について

### (1) 据え付けに際して

- ①タンクは保守点検を容易かつ安全に行うことができるように周囲に空間を設けて設置してください。
- ②タンクは、転倒防止のため、基礎コンクリート或いは、架台等にアンカーボルト又はボルトにて確実に固定してください。
- ③タンクを設置する前に架台の支持箇所が所定の間隔になっているか、また、架台の水平が確保されているか合わせて確認してください。
- ④GFRP製タンクは着火し、燃える恐れがありますのでタンクの近くでたき火等、火気の使用は避けてください。やむをえずタンクの近辺で溶接作業を行う場合は、タンクに火花が飛ばぬよう、必ずタンクを養生保護してください。

(2) 配管に際して

- ①配管はタンク本体側から施工してください。
- ②配管は芯出しを正確にし、配管取出し口に無理な偏荷重がかからないようにしてください。
- ③配管取出し口にパイプをねじ込む時は、パイプ径に応じたパイプレンチを用い、ゆっくりと負荷を確認しながら、ねじ込んでください。パイプレンチに補助パイプを差し込んで締め付けしないでください。
- ④配管取出し口に管やバルブ等の重量が直接かからないように、配管サポートを設けてください。

(3) 荷降ろし、運搬、吊り上げに際して

- ①荷降ろし、吊り上げ時には、タンクの管取出し口、通気口、その他の付属部品にロープ等を掛けず、パレット等の台に載せた状態で行ってください。
- ②タンクを地面に直接置いて引きずらないでください。

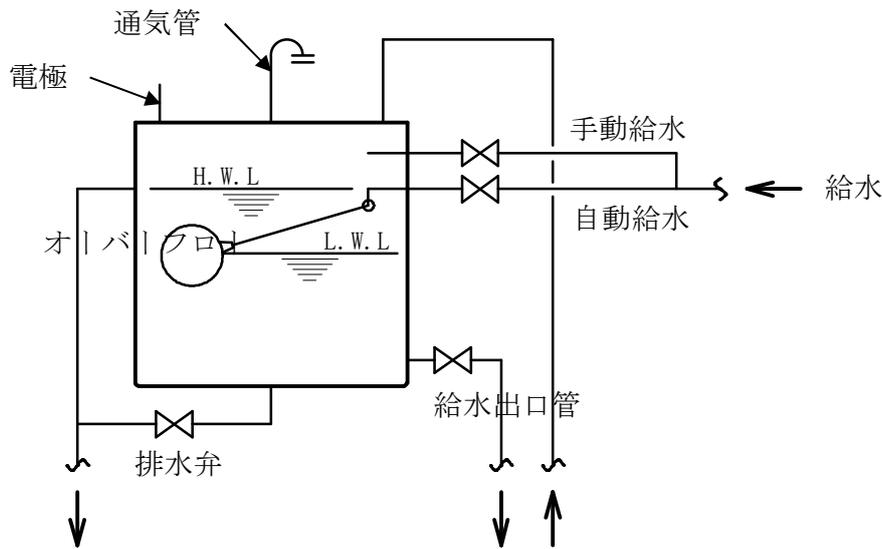


図3 タンク回りの標準配管例

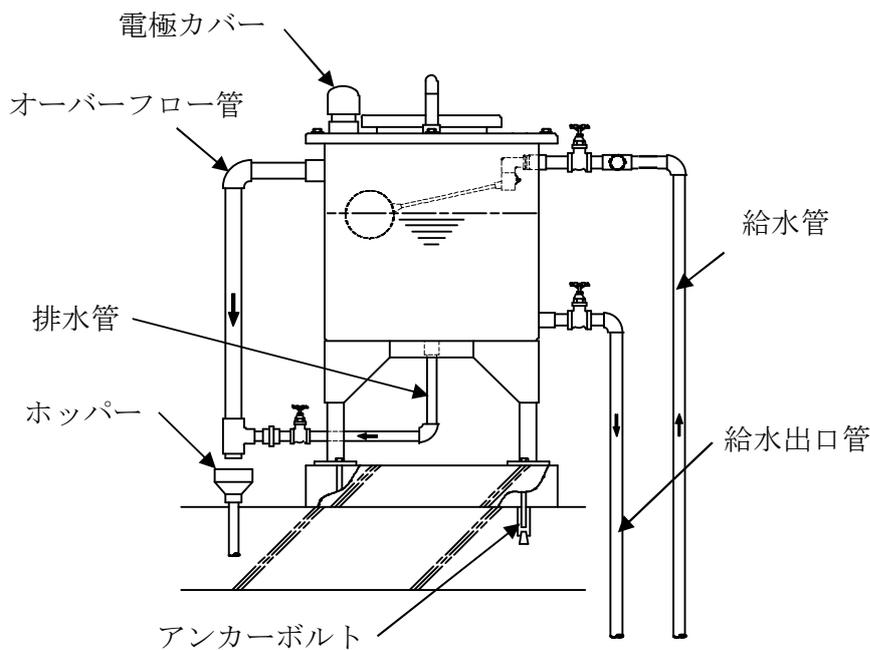


図4 正面図

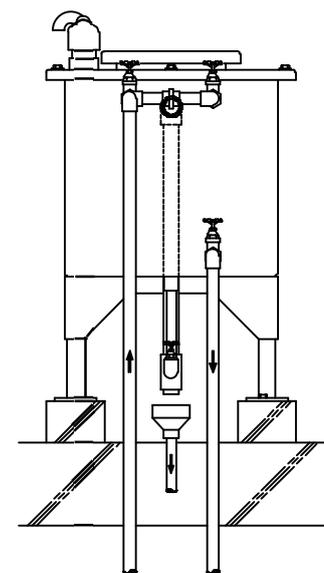


図5 側面図

### 3. 使用上のご注意、保守点検について

#### (1) 使用上のご注意に際して

- ①本体の最高使用温度は SUS 製 100℃・GFRP 製は 60℃です。それ以上の温水を入れて使用すると、強度低下・劣化を生じ、タンクの破損につながり、事故の原因となります。
- ②長期間、貯留水を滞留させた場合には、ご使用前に貯留水を排出し、タンク内を点検後、再使用してください。
- ③タンクの上や配管に乗ったり、タンクに縄等を引っ掛けて物を動かさないでください。タンクの破損や漏水などの事故につながります。

#### (2) 保守点検に際して

- ①年1回以上は、定期点検、清掃を行ってください。  
△注意 清掃の際は以下の点にご注意ください。
  - イ) GFRP 製タンク内面の汚れ落としには、プラスチック製のブラシなどやわらかいものを使用してください。
  - ロ) ステンレス製タンク内面の汚れ落としには、ステンレス製又は不織布タワシなどを使用してください。
- ②通気口、オーバーフローなどに詰まりがないことを適宜確認してください。

SK 式タンクは通常の使用状態で、適切な維持管理を行うように努めてください。ご使用期間中の衛生確保と製品事故防止のためにも、定期的に保守・点検を実行し、異常が認められた場合は補修してください。

#### ●一般的な保守点検内容

項 目	実 施 時 期
基礎・架台・アンカーボルトの異常の有無の確認	1ヶ月以内に1回定期
通気口、オーバーフロー等詰まりがないことを確認	
ふた、点検用ふたが確実に閉じていることの確認	
ボルト締結部のネジの緩みの確認	6ヶ月以内に1回定期
タンクの異常、変形発生の有無の確認	
塗装及びメッキ処理金属部の発錆の有無の確認	

### 4. 保証・サービスについて

本製品は常に厳しい管理体制のもと品質第一で製造されておりますが、ご購入1年以内の製品に材料又は製造上の欠陥がある場合には、速やかに修理又は代替品の発送を無償でさせていただきます。但し、以下の場合にはその責に応じかねますので、ご了承ください。

- ◆施工不備等による製品の破損及び付随的損害（使用不能による経済的損失）。
- ◆目的以外の使用や納入後取扱いによる製品の破損及び付随的損害。
- ◆輸送機関の事故、天災地変（地震、火災等）による、製品の破損及び付随的損害。

## 5. 光透過と藻類発生について

### ■藻類の発生

建物の屋上に設置されている一部の GFRP 製タンクで藻の発生が認められています。

公的機関による調査研究の結果、藻類の増殖を防止するためには、光の透過を抑える必要があることが定量的に確認され、「FRP 製水槽藻類増殖防止のための製品基準 照度率 0.10%」以内であれば藻が増殖しないとされています。

SK 式 GFRP 製タンクは、JISA4110 付属書 2 遮光性試験方法に基づいて試験を行い、下記の結果を得て、照度率 0.10%以下を十分クリアすることが確認されています。

$$\text{水槽照度率} = \frac{\text{水槽内照度 (Lux)}}{\text{水槽外照度 (Lux)}} \times 100(\%) \leq 0.10\%$$

### ◇照度率試験結果

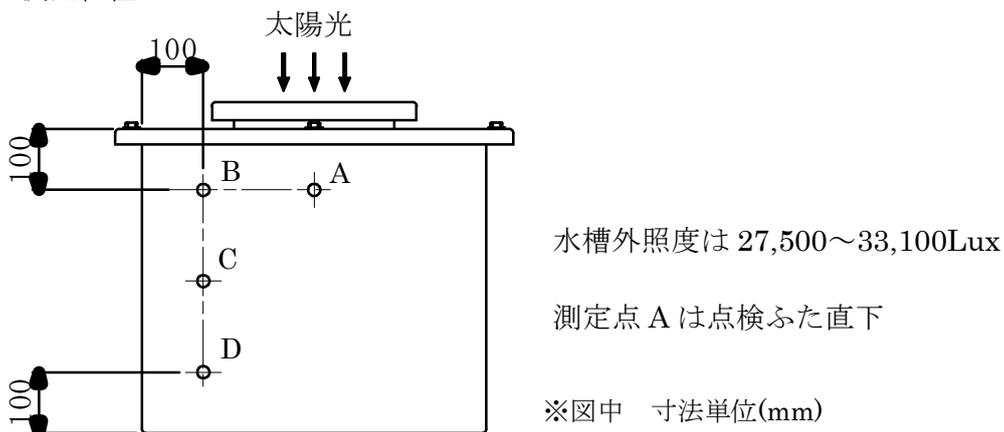
#### 1) 試験体

容量 500L の単板形タンク (SK-FR-500ETN)

#### 2) 測定方法

「JISA4110 付属書 2 遮光性試験方法」による。

#### 3) 測定位置



#### 4) 測定結果 (当社測定値)

測定点	照度 (Lux)	照度率 (%)
A	17.5	0.05
B	18.9	0.06
C	12.7	0.04
D	9.5	0.03



## 下田エコテック株式会社

<http://www.shimoda-ecotech.co.jp>

E-Mail:home@shimoda-ecotechco.jp

---

本社／〒111-0052 東京都台東区柳橋一丁目1番11号 イーストサイドビル 2F  
TEL. 03 (3864) 5710<代> FAX. 03 (3864) 5733・5703

名古屋支店／〒460-0007 名古屋市中区新栄3丁目5番1号 セントラル千種ビル 4F  
TEL. 052 (262) 0524<代> FAX. 052 (262) 0538

大阪支店／〒541-0043 大阪府中央区高麗橋四丁目6番20号 マスイビル 6F  
TEL. 06 (6203) 9745<代> FAX. 06 (6203) 0017

札幌営業所／〒060-0004 札幌市中央区北4条西三丁目1番地 北海道建設会館 2F  
TEL. 011 (223) 0722<代> FAX. 011 (221) 1821

仙台営業所／〒980-0013 仙台市青葉区花京院二丁目1番61号 第五タカノボルビル 6F  
TEL. 022 (738) 8461<代> FAX. 022 (738) 8462

市川流通センター／〒272-0013 市川市高谷1855-9 市川流通団地協同組合 F棟 2F  
TEL. 047 (329) 6113<代> FAX. 047 (329) 6121

取扱店